

学校名 美里町立東児玉小学校
所在地 児玉郡美里町阿那志13
電話 0495-76-0335

1 本校の概要

本校は、県北西部に位置し、遠くに上毛三山が見渡せる緑豊かな田園地帯の中央に立地している。児童数225名の中規模校である。地域との結び付きが強く、読書活動における関わりをはじめ、登下校の見守りや米作り等、様々な場面において、地域の方に子供たちの教育活動を応援していただいている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 読書年間目標の設定

低学年 120冊、中学年 7000ページ、高学年 8000ページを年間目標とし、学校や家庭で読書後、カードに記録させた。年間を通して読書活動に意欲的に取り組んだ児童を町に報告し、読書表彰を行っている。

イ 朝読書・読み聞かせ

毎週月曜日の朝を読書の時間に位置づけ、全校で読書を行った。6月の雨降り読書週間には、担任以外の教員が読み聞かせを行い、学年に応じた楽しめる内容で本に親しんだ。



ウ 図書委員会による取組

図書集会では、図書委員会による絵本の読み聞かせや、図書館利用についてのお願い、本についての〇×クイズなどを行い図書の啓発活動を行った。

エ 地域の方による読み聞かせ

地域の読み聞かせボランティアの方に来校いただき、1～3年生を対象に読み聞かせをしていただいている。(毎月2回程度実施)



オ 町の図書館との連携



9月と11月に町の図書館から100冊の本をお借りし、学級文庫として活用している。

カ 図書バッグの活用

机の横に図書バッグをかけ、いつでも本を読めるようにしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学期ごとの読書目標を設定することで、読書の習慣が身についた児童もいた。

イ 心のこもった読み聞かせによって、本の世界に引き込まれ、本の魅力や醍醐味を味わうことができた。

ウ 発達段階を考慮し、幅広いジャンルの本を選定することで、読書の幅が広がった。

エ 給食を食べ終わった後の時間等、隙間時間に進んで読書する姿が見られた。

(2) 課題

ア 読書が苦手な児童も本が好きになるように働きかけたり、学年に合った内容の本を紹介したりする等の手立てを考える必要がある。

(3) おわりに

地域や家庭と連携しながら読書環境を整え、児童の読書活動の推進に一層力を入れていきたい。